

創立100周年記念事業 校門周辺整備 完成式典

創立100周年記念事業の一つとして進めてきました「校門とフェンスの改修工事」が完了し、その完成式典が8月23日(金)に盛大に行われました。

この事業は、卒業生、地元企業の方々の多大なるご支援とご協力によるものです。多くの関係者の皆様には、本当に感謝申し上げます。

この新しい校門が益田清風高等学校の生徒や卒業生にとって、誇れるシンボリックな存在となり、発展していくことを心より願っております。

創立100周年記念事業実行委員会

作品名「息吹」

門柱は、高さ約2.8mあり、円柱の上に桜の花びらを立体的に表現した石彫が載るデザインとなっております。コンセプトとして、学校前の桜(農林坂・益高坂)の桜をテーマにデザインをしました。桜の花びらを3枚重ねた形をふくらませて立体的にし、3枚は一年生・二年生・三年生を表します。仲良く学校生活を送る様子を表し、夢に向かって上昇しています。全体的に柔らかい感じにしたので、環境デザインとして子どもたちの心に響き優しい気持ちになってもらえたらと思います。素材は次の100年、1000年と持つように花崗岩で作りました。桜にちなんで薄ピンク色の岡山市 瀬戸内海産 の犬島石で制作しました。大阪城・江戸城の石垣や鎌倉の鶴岡八幡宮の鳥居に使用された歴史的な石です。作品名は生命の息吹、春の息吹の「息吹」です。生命の活動の象徴とされる言葉で、活動や生命力、新たな動きを示す表現として用いられます。…次の100年の始まりです。

石彫制作者 遠藤 隆彦 氏より

益田清風高等学校の新しい校門を制作していただきありがとうございます。創立100周年記念事業実行委員の方々を中心に多くの方々が協力してくださったおかげでこのような素敵な校門を作っていただくことができました。本当にありがとうございます。

また、このモニュメントは、桜をイメージして作られたということでもとても素敵だと思いました。私達も益高坂(農林坂)の桜並木が大好きなのでとても感動しております。この素晴らしい校門を毎朝見ることから1日の学校生活が始まるかと思うと、とても嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいです。

生徒一同、この素晴らしい校門を誇りに、様々な学校の活動に励んでいきたいと思えます。私たちの学校のためにご支援、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

生徒会長 安保南那